

授業科目	保育実習指導 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE31626J		
開講年次	3	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	上村 眞生、金谷 めぐみ							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員としての経験を基に、保育実習 I に臨むにあつての姿勢・心構えについて確認する。実習先施設の機能・役割、子どもを理解する視点、保育士に求められる知識と技術について確認する。事前学習を深め、各自の実習課題を明確にする。実習記録の書き方、保育指導案や個別支援計画の立案について学ぶ。守秘義務や危機管理について確認する。実習に必要な書類の作成や事前訪問などを実行する。実習後は個別面談により実習の振り返りを行い、実習での学びを整理し、実習報告会にて発表する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実習の意義、目的について理解する</li> <li>2 実習を展開する上での整えるべき書類の内容と作成ができる</li> <li>3 実習先への事前訪問を踏まえて、実習課題と実習計画作成ができる</li> <li>4 実習先でのマナー知識、技術および人間関係の形成について、スキルを身につける</li> <li>5 保育士として遵守すべき諸規則、諸規定、諸契約や守秘義務、職業倫理を理解する</li> <li>6 実習を行う上でのリスク管理、健康管理などについて理解する</li> <li>7 実習に必要な知識・技術を身につけようとする</li> <li>8 実習後の反省、次への課題抽出ができる</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	50	50	100	
知識・理解 (DP1-1)					10	5	15	
知識・理解 (DP1-2)					10	5	15	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					5		5	
思考・判断 (DP2-2)					5		5	
関心・意欲 (DP3-1)						5	5	
関心・意欲 (DP3-2)						5	5	
態度(DP4-1)					10	10	20	
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)					10	5	15	
技能・表現 (DP5-1)						5	5	
技能・表現 (DP5-2)						5	5	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実習の意義、目的について理解しており、自分の言葉で説明できる</li> <li>2 実習を展開する上での整えるべき書類の内容と作成ができており、他者への助言ができる</li> <li>3 実習先への事前訪問を踏まえて、実習課題と実習計画作成が提出期限前に余裕を持ってできる</li> <li>4 実習先でのマナー知識、技術および人間関係の形成についてのスキルについて言葉で説明でき、実践しようとしている</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実習の意義、目的について理解する</li> <li>2 実習を展開する上での整えるべき書類の内容と作成ができる</li> <li>3 実習先への事前訪問を踏まえて、実習課題と実習計画作成ができる</li> <li>4 実習先でのマナー知識、技術および人間関係の形成について、スキルを身につける</li> <li>5 保育士として遵守すべき諸規則、諸規定、諸契約や守秘義務、職業倫理を理解する</li> </ol>				

<p>5 保育士として遵守すべき諸規則、諸規定、諸契約や守秘義務、職業倫理を理解しており、他者へ説明できる。また、必要に応じて、他者に促すことができる</p> <p>6 実習を行う上でのリスク管理、健康管理などについて理解しており、実践しようとしている</p> <p>7 実習に必要な知識・技術を繰り返し練習し、高い水準で発揮できる</p> <p>8 実習後の反省の中で、自分の実習を客観的に分析でき、次への明確な課題抽出と行動目標の提示ができる</p>		<p>6 実習を行う上でのリスク管理、健康管理などについて理解する</p> <p>7 実習に必要な知識・技術を身につけようとする</p> <p>8 実習後の反省、次への課題抽出ができる</p>		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 実習に臨む心構え、授業の進め方、事前学習を行って理解しておくべきこと、各自が明確な課題をもって実習に臨むための準備を進めていくことを確認する	講義	実習で必要となる知識・技術において授業内容を踏まえ、実習までに身につけておくこと	300
2	保育所の役割と機能 保育所の生活と一日の流れを確認し、保育所保育士の職務を理解理解する	講義	書類作成	180
3	保育所における計画と実践 保育の計画について概説し、保育における計画全般を理解する	講義	教科書の関連箇所を読んでくる	60
4	保育所における子ども理解 1 3歳未満児の発達について解説する 観察法を概説する	講義	教科書の関連箇所を読んでくる 観察記録の作成	120
5	保育所における子ども理解 2 3歳以上児の発達について理解する 配慮の必要な子どもの保育について解説する	講義	教科書の関連箇所を読んでくる 観察記録の作成	120
6	子どもの生活と保育環境 保育所における子どもの生活について紹介し、保育の環境構成を解説する	講義	教科書の関連箇所を読んでくる	60
7	子どもの人権と個人情報・リスクマネジメント 実習における子どもの人権の尊重と、個人情報の保護の重要性について解説する。子ども、実習先、実習生のリスクマネジメントについて解説する。	講義	リスクマネジメントに関する課題を完成させる	120
8	保育所における保育の概要と保育士の役割について(乳児)	講義	講義の内容を整理し「保育所における保育士の役割(乳児)について」のレポート作成	180
9	保育所における保育の概要と保育士の役割について(幼児)	講義	講義の内容を整理し「保育所における保育士の役割(幼児)について」のレポート作成	30
10	事前訪問 実習の事前訪問について、その必要性、内容を解説し、訪問のマナーを身につける	講義	書類作成	180
11	保育実習の記録 1 実習の記録の重要性について解説し、実習記録を作成する	講義	日誌例を書いてくる	120
12	保育実習の記録 2 実習記録を作成する	講義	日誌例を書いてくる	120
13	保育実習の記録 3 実習記録を作成する	講義	日誌例を書いてくる	120

14	実習前最終確認 実習生としてのマナーを解説し、注意事項、緊急時の対応について、巡回訪問について等の確認と各自の実習課題についての再確認を行う。	講義	各自の事前学習した内容を整理し、理解する。最終確認での注意事項は、実習開始までに繰り返し確認すること。	60
15	オリエンテーション 施設実習に臨む心構え、授業の進め方、事前学習を行って理解しておくべきこと、各自が明確な課題をもって実習に臨むための準備を進めていくことを確認する	講義	実習で必要となる知識・技術において授業内容を踏まえ、実習までに身につけておくこと	60
16	実習後個別指導 実習内容、実習先の評価、巡回指導の内容を踏まえて、個別に指導する	個別指導	実習記録を見返しておくこと	60
17	実習報告会 1 実習での体験や保育活動を概念化して体系立てて報告する。自分自身の実習先以外で実施された保育活動に関心をもち、他者の発表を聞く。	発表	他者の発表やコメントを振り返り、実習報告会の準備をする	60
18	実習関連書類の作成 3 実習書類の重要性、必要性について解説し、実習書類を作成する	講義	書類作成	60
19	実習先の理解 1(外部講師) 施設実習で対象となる児童福祉施設について、保育士の業務内容を紹介し、実習内容についてイメージを明確にする	講義	各児童福祉施設について、業務内容を整理し、実習内容を明確にする	60
20	実習先の理解 2(外部講師) 施設実習で対象となる児童福祉施設について、保育士の業務内容を紹介し、実習内容についてイメージを明確にする	講義	各児童福祉施設について、業務内容を整理し、実習内容を明確にする	60
21	【外部講師による授業】 実習で必要とされる知識・技術 1	講義	各児童福祉施設について、業務内容を整理し、実習内容を明確にする	60
22	【外部講師による授業】 実習で必要とされる知識・技術 2	講義	実習で必要とされる知識・技術について整理、自身の課題と行動計画についてレポート作成	60
23	実習で必要とされる知識・技術 3 「実習で必要とされる知識・技術 1・2」の授業を踏まえ、各実習先で必要とされる知識・技術を整理し、自己課題を抽出する	講義	実習で必要とされる知識・技術について整理、自身の課題と行動計画についてレポート作成	60
24	実習関連書類の作成 4 実習先毎に実習計画書、実習施設の概要についての書類を作成する 実習日誌の書き方を指導する	個別指導	書類作成	60
25	実習関連書類の作成 5 実習先毎に実習計画書、実習施設の概要についての書類を作成する 実習日誌の書き方を指導する	個別指導	書類作成	60
26	実習前最終確認 注意事項、緊急時の対応について、巡回訪問について等の確認と各自の実習課題についての再確認を行う。	講義	各自の事前学習した内容を整理し、理解する。最終確認での注意事項は、実習開始までに繰り返し確認すること。	60
27	実習後、個別指導 実習内容、実習先の表か、巡回指導の内容を踏まえて、個別に指導する。	個別指導	他者の発表やコメントを振り返り、実習報告会の準備をする	
28	実習報告会	発表	実習記録を見直しておくこと。	60

	実習での体験や保育活動を概念化して体系立てて報告する。自分自身の実習先以外で実施された保育活動に関心を持ち、他者の発表を聞く。			
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	保育所保育指針解説書、全国保育士会倫理綱領、保育実習マニュアルについては熟読しておくこと			
テキスト	保育実習マニュアル 西南女学院大学保健福祉学部福祉学科子ども家庭福祉コース 保育実習 公益財団法人児童育成協会監修 中央法規 2016			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所保育指針解説書 厚生労働省</li> <li>・全国保育士会倫理綱領 全国保育士会</li> <li>・保育士のための福祉施設実習ハンドブック 小野澤昇・田中利則 編著 ミネルヴァ書房</li> </ul>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	実習課題を深める上でも実習関連文献の学習、個別の見学学習やボランティア学習を推奨します。実習に関連する資料として事前学習で用いた資料は一冊のファイルに綴じておきましょう。実習中の考察や実習後の振り返りにも役に立ちます。			
達成度評価に関するコメント	実習前のレポート課題 10% レポート外の提出物 20% 実習後の報告会での発表 50% 授業中の発現頻度、質問頻度で評価する 20%			